



1772-1859年 幕末の大儒學者で日本の孔子とも云われる人物。半生にわたって『東洋事情』を著し、西郷隆盛などの指導者や、明治天皇、そして現在に受け継がれて



1854-1936年 明治から昭和に活躍した教育家であり歌人。幼名平尾路。5歳で俳句・漢詩を読み、和歌を作る神童となり、後に日本女子教育の先



1862-1939年 1862年、植物学の基礎を築き、桜と花鳥の研究における世界的第一人者。天



文治元年(1185年)、源頼朝の家臣加長男景朝が岩村城を築き、遠山氏を称しました。戦国時代末期、城主の遠山景任が病没し、養子として迎えていた織田信長の五男御坊丸がまだ幼少であったため、その夫人おつや(織田信長の叔母)が実質的な城主として、領地を治めていました。いわゆる女城主です。おつやは大変聡明で美しく、領民に慕われていたそうです。元龜3年(1572年)、武田信玄の24将の1人、秋山虎繁が侵襲してきました。おつやは自ら采配を振るい、信長の支援を待って籠城作戦に出ました。しかし、この時、信長は長島の一揆など前に進めず、信長は3ヶ月にわたって、城内の食糧も不足して来たころ、虎繁がおつやを妻とすることを条件に無血開城を申し入れてきました。おつやは苦境の末、城兵や領民の命を守るため敵將との結婚を決意し、開城しました。その後の数年間、おつやは虎繁と共に、城の普請の結婚を決意し、開城しました。その後の数年間、おつやは虎繁と共に、城の普請



昭和-生糸工場

明治2年(1869年)、最後の藩主である松平乗尚は版籍奉還により岩村藩知事に任じられました。明治4年(1871年)の廃藩置県により、岩村藩は廃藩となり、岩村県を経て岐阜県に編入されました。水野薬局(水野家)には自由民権を主張した板垣退助が明治15年(1882年)岐阜で薬業に携われる



明治/大正時代

江戸時代に入ると大給松平氏の松平家が岩村藩を立藩、城山の北西山麓に藩主の居館を移し、城下町など領内の整備が行われました。2代移封となり、代わって伊予藩(愛知県豊田市)から丹羽氏信が2万石で入封します。元禄15年(1702年)、丹羽氏信がお家騒動で越後国に移封になると、小幡藩(長野県小幡市)から松平乗紀が新たに岩村藩主になります。以後、松平家が7代幕府まで岩村藩を守り明治維新を迎えています。



江戸-松平藩の時代

岩村城には17箇所もの井戸がありました。そのため籠城の際にも飲み水に困ることがなかったわけですが、なかでも「羅曲曲にある羅フ井は城主専用の霊泉で、『羅色府誌』という書物に、『敵が攻めて来たとき城を覆い尽くし、城を守った』と記してあります。ゆえに、岩村城は別名『羅フ井』と呼ばれています。



いわむらの歴史 戦国~江戸~明治~大正~昭和の足跡を巡る

https://iwamura.jp/ 1862-1939年 1862年、植物学の基礎を築き、桜と花鳥の研究における世界的第一人者。天

いあむら観光スポット 女城主の里を歩く

いわむらの観光スポット 女城主の里を歩く

1 MAP 岩村城跡 日本百名城 日本三大山城 重要伝統的建造物群保存地区(岩村本通り・城下町)

六段壁の見事な石垣が重厚な歴史を語る場所 大和高取城(奈良県) 備中松山城(岡山県)と並ぶ日本三大山城の一つに数えられる名城で(公財)日本城郭協会により『日本百名城』に選定されました。

2 MAP 下田歌子勉学所 下田歌子が勉学に励んだ場所 日本女子教育の先駆者であり、実践女子大学の創設者である下田歌子が、父の書齋で父と祖父の蔵書を読み、独学で和漢学を学んだ部屋を復元しました。

3 MAP 岩村歴史資料館/藩主邸跡/太鼓櫓 岩村城の歴史に触れる場所 城山の麓にあり、昭和47年(1972年)藩主邸跡に開館しました。二階建ての館内には、県の重要文化財に指定されている岩村藩の資料などを数多く収蔵。岩村の歴史が凝縮されています。

4 MAP 大將陣公園/ 5 MAP 妙法寺まくら塚 女城主と武將たちの眠る場所 女城主と秋山虎繁、武將たちの眠る大將陣と江戸時代とその御霊を弔うため作られたまくら塚のある妙法寺。岩村城内にあった城門が移築されています。

8 MAP 土佐屋 江戸時代、染物業を営んでいた旧家 約260年前に染物業を営んでいた商家で平成11年に「工芸の館土佐屋」としてオープン。当時の染物の工程を学ぶことができる染工場、土佐屋の歴史を展示した土蔵などがあります。

人々の生活の歴史に触れる場所 岩村本通りは商家の町並みとして、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている女城主ゆかりの城下町。当時の面影を残す商家や旧家、ナマコ壁などが今も残っています。

9 MAP 勝川家 商家として幕末に台頭し藩財政に貢献 江戸末期に台頭した商家で屋号は「松屋」。江戸後期の建物で木造2階建て、2軒の建物で成り立っています。書院、茶室、使用人部屋などがあり、往時の暮らしを見ることができます。

10 MAP 加納家 藩政時代に火縄銃や槍を製造 一部土蔵づくりの一風変わった外観で軒の採光窓が特徴。江戸時代から三代続いた鉄砲鍛冶。初代加納左衛門包房が槍、薙刀、刀などの武器を鍛造した記録が残っています。

11 MAP 柴田家 明治時代の町屋の形式をよく残している 柴田家住宅は明治時代の典型的な建造物で、整備工事によって平成15年に「いわむら美術の館」としてオープン。建物内には絵画を中心に展示され、建物とともに見学できます。

いわむらのお祭り

3月 いわむら城下町のひなまつり 江戸時代から伝わる由緒あるおひなさまや藩主邸にまつわる古今雛、装飾が見事な御殿雛など、3,500体を超える様々な種類のおひなさまが展示される春の風物詩。 3月1日~4月3日
8月 いわむら夏祭り 70年を超える歴史を持つ元祖コスプレ大会「いわむら夏祭り大変装行列」。工夫を凝らした衣裳や造り物で本通りを練り歩きます。 8月第1土曜日
ザ・緑日 夏祭り・新能と並ぶ岩村の夏の三大イベントのひとつで、若者の力を結集した一大イベント。昔懐かしい緑日の趣やふるさと創生花火を楽しめます。 8月13日
10月 秋祭り 神輿渡御行列 (岐阜県重要無形民俗文化財) 古式の衣装をまとった総勢約300名の行列が数百メートルにわたって城下町をゆっくりと歩く姿は圧巻。 10月第1土・日曜日
11月 いわむら城下おかげまつり 秋の収穫の喜びと郷土への感謝(おかげさま)を伝える場として、歴史の町並み(岩村本通り)を舞台に開催される秋の賑わい市。 11月上旬

岩村町内で開催される木工体験や型紙体験、城下町めぐりなどの体験プログラムを集めたイベントの愛称が「いわむら五つっこ(ごっこ)」です。人とのふれあいを通じて、より深く岩村を満喫してください! https://iwamura55.com/ いわむら五つっこで検索!

お問い合わせ 町並みふれあいの館内 tel 0573-43-3231 (一社)恵那市観光協会岩村支部/岩村町観光協会/「えなてらす、いわむら。」 https://iwamura.jp E-mail kankou@iwamura.jp

Table with 3 columns: 岩村歴史資料館, 木村邸, 土佐屋, 勝川家, 加納家(鉄砲鍛冶), 柴田家. Includes entry fees and days off.

◆アクセス 中央自動車道 約50分 恵那IC 国道257号線 約20分 岩村町 JR名古屋駅 中央本線 約60分 JR恵那駅 明知鉄道 恵那駅 飯羽間駅 極楽駅 岩村駅 約30分

